

未来の光

恵泉女学園中学校

3年

久芳

真央

フキレリ！フキレリ！

赤や青や黄などいろい로운色の光に心かは

ずみ笑みかこぼれる。黄金に輝くビクベ

に出迎えられる。

今年の冬休みに両親と姉で相模湖プラ

ルフォレストに行ってきた。関東で最大のイル

ミネシヨシヨシ。光の死畑。光の海。光の

城などなど。フーフフのコーナリにはそれそれ

のテロマかあった。その中の一つである光の

海ではイルカやニモなどの動物に囲まれて

海の中にいる気分だった。

私はイルミネーションが大好きだ。その

歴史が知りたくなくて調べてみた。起源は諸

説あるが、有力な説の一つに、十六世紀のト

イツのマルチン・ルタリによるものかあった。

クリスマスの礼拝の帰り道に森の中で見た星

空に感動し、その情景を再現すべく、木の枝

にろうそくを飾りつけたことが始まりらしい。

そこから発明が進み、現代のLED電球のイン
ルミネーションに至っている。

最近、母が資源が少なくなってきたと言
うていた。テレビのCMでもやっている。

日本は電気の発電のもとである石油や石炭や
天然ガスなどエネルギーの大部分を輸入に頼

っている。しかしエネルギーは限りれた量し
かこの地球に存在しない。

そして母は私の孫あたりりエネルギーは
なくなるとは言っていた。私は、大好

きなイルミネーションを自分の子供や孫その
後の世代にも感動して欲しいと思っている。

技術が進歩してLED電球など消費電力が
少ないものも発明されている。少しでも多く

エネルギーが残りのイルミネーションで心が明
るくなってもいいと思います。私は美

術部に入っている。大好きなイルミネーション
のデザインを考えてみたいと思っています。